

EMS ニュースの第 18 号をお届けします。

今回は、事態対処医療 (Tactical Medicine) の研修会をご案内します。

主催は、昨年末に設立された一般社団法人 TACMEDA 協議会 (アジア事態対処医療協議会) です。

TACMEDA は、元自衛官の理事長を中心に、「助かる命を確実に助ける」を目指し設立されました。

その目標を達成するために、事態が起こり負傷者が発生した時の病院前救護方法である、米国の TCCC (Tactical Combat Casualty Care) や ITLS (International Trauma Life Support) -TACMED を日本へ普及させることを目的として掲げています。

今回の国際標準戦闘外傷救護・初療コースは TACMEDA が設立されてから、初の大きな講習会となります。

ITLS-TACMED のインストラクターを米国から招いての、実戦さながらの講習会です。

下記へ、案内書を掲載します。興味のある方は、お問い合わせ下さい。

お問い合わせ方法

TACMEDA ホームページ：URL=<http://www.tacmeda.com/> TOP ページに資料請求のアイコンがあります。

mail : tacmeda@gmail.com

下記「お問い合わせ」QR コード

2 月の本コースへの準備コースとして、1 月に 2 回の講習会も開催されます。

こちらののコースも、ご検討ください。

日本初の国際標準戦闘外傷救護・初療コース開催

Tactical Medicine ESSENTIALS Course

アメリカ救急医学会認定



TACMEDA 御殿場研修センター

「事態対処医療」の原著「Tactical Medicine ESSENTIALS」の著者であるインストラクターが来日！！

インストラクター養成コース：2月20日(土)21日(日)

プロバイダーコース：2月27日(土)28日(日)

会場は当協議会の研修施設である御殿場プレミアムアウトレット向い敷地面積6300坪(20800㎡)の屋内研修センターで開催されます。

コースで学べる内容

- 1 負傷した重武装警察官の救出・救助法
- 2 戦闘時の患者の評価・観察法
- 3 フォースオンフォース訓練
(エアソフトガンで撃ち合い、受傷した箇所
に処置を施す実践演習)
- 4 凶悪犯罪・テロに対する対処法

戦闘外傷救護・初療は先進国のMEDICレベルです。

戦闘射撃、戦闘技術まで含め国際認定を受ける事が出来る世界唯一の研修コースです。

お問い合わせ ↓



主催：一般社団法人 TACMEDA 協議会 <http://www.tacmeda.com/>
〒412-0023 静岡県御殿場市深沢1279 Mail: tacmeda@gmail.com

あとがき

昨年 11 月にパリで起こったテロ事件からまだ日が浅く、最近もトルコやインドネ

シアを始め各地で IS によるテロ事件が頻発しています。

はたして、日本も他人ごとではないのでしょうか。

当社で販売している個人用の救急キットの出荷は、最近、増加傾向にあります。

個人で、テロ事件を意識している方が増えているように感じます。

日本初の国際標準戦闘外傷救護・初療コース開催

Tactical Medicine ESSENTIALS Course

アメリカ救急医学会認定

2 月の本コースの開催準備、受講準備の為、以下の通り、勉強会を開催しています。
興味のある方は、誰でも参加できます。参加可能人数300人まで。

| | | |
|-------------------------------|---|---|
| 1 月 16日、17日 09:00-17:00 | 車両で移動中に受けたIED の爆発、襲撃に対応し救護 を行なうための勉強会 実際に車両に搭乗し、エア ガンを使用する実践的内容 | 会場： 静岡県 御殿場研修 センター 参加費： 1日3,000円 (無料駐車場有) |
| 1 月 23日、24日 09:00-17:00 | ヘリコプター後送要請 (9Line Medevac Request) ヘリコプター誘導 機内救護 発炎筒を炊いて、手旗でラ ジコンヘリを実際に誘導す る実践的内容 | 会場： 静岡県 御殿場研修 センター 参加費： 1日3,000円 (無料駐車場有) |

この一連のコース受講があなたにもたらすもの

日本では、今年3月には集団的自衛権の行使容認などを柱とする安全保障関連法が施行される見通しです。一度(ひとたび)海外で日本人による戦闘が生じたのであれば、フランスのようにその報復として国内でのテロが発生するようになるおそれがあります。

さらに、今年は伊勢・志摩サミットが5月に開催され、4年後には東京オリンピック開催も控えています。わが国日本はテロの標的国になりうる要素は備わっているものとして対策を行なうべきでしょう。

テロ対策には警備や防護の強化が目立ちますが、自由意志を持つ者の攻撃は完全に防ぐことは難しいものです。戦闘外傷に対する備えも大変重要です。

しかし、日本は幸いにして平和であるために銃創や爆傷の症例は少なく、また現場における対応や救護についてもノウハウの蓄積に乏しいものです。

こうした面で国際標準の教育プログラムであるTacMedは大変有効ですし、海外から随伴して行く医療チームとの連携にも大いに役立ちます。

代表取締役 山本博太

アコードインターナショナル株式会社

151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷1-9-4-1005

TEL:03-3299-6751 FAX:03-3299-6752

e-mail: Accord@accord-intl.com <http://www.Accord-INTL.com>

